



2026年6月25日

【お知らせ】

会社名 B R A N U 株式会社
代表者名 代表取締役 名富 達也
(コード番号：460A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 C F O 宇都宮 久之
(TEL 03-5413-4820)

「CAREECON Plus」施工管理機能に「機材管理」が登場

建設DXプラットフォーム事業を展開するBRANU株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：名富 達也、証券コード：460A）は、建設業向け統合型ツール「CAREECON Plus」の施工管理機能において、機材の稼働予定を可視化し、月次カレンダーで管理できる「機材管理」を追加しました。

本機能の追加により、これまで分散していた機材情報や利用予定を、案件情報と紐づいた業務データとして扱えるようになります。案件・工程・機材に関する情報が「CAREECON Plus」上に蓄積されることで、現場で発生する情報をAIが参照しやすいカタチで整理していく基盤が整います。

詳細は別添をご覧ください。

以上

「CAREECON Plus」 施工管理機能に「機材管理」が登場



建設DXプラットフォーム事業を展開するBRANU株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：名富 達也、証券コード：460A、以下ブランニュー）は、建設業向け統合型ツール「CAREECON Plus」の施工管理機能において、機材の稼働予定を可視化し、月次カレンダーで管理できる「機材管理」を追加しました。

■開発の背景

建設現場では、複数の案件が同時に進行するなかで、工程に合わせて工具や車両、専用機材などを手配し、現場ごとの利用予定を確認する必要があります。特に小規模案件や短工期案件では、限られた機材を複数の現場で調整しながら使用する場面もあり、機材の所在や稼働状況を把握することが重要です。

しかし、現在の機材の管理方法は紙の台帳や表計算ソフト、チャット、担当者ごとの個別管理で行われる場合も多く、最新の利用予定や変更内容の共有に手間がかかる。情報が分散している場合は、同じ機材の重複手配や確認漏れが発生する、といった課題も散見されます。

また、自社で保有している機材と、リース・レンタルで利用している機材の情報が分かれている場合、所有形態ごとの利用状況を確認しにくく、特にリース・レンタル機材では、返却遅れや不要な契約の継続が追加費用につながることもあり、機材の管理精度は現場運営だけでなく、収益性にも影響します。

こうした背景から、機材の情報と稼働予定を一元的に管理し、現場ごとの利用状況や所有形態を確認できる仕組みが求められていました。

■「機材管理」について



機材管理



機材情報を登録し、案件ごとの利用予定を月次カレンダーで管理

1 機材情報を登録

機材名	レーザー墨出し器
機材ID	EQ-0001
カテゴリ	測定機器
メーカー	サンプルメーカー
型番	MODEL-001
シリアル番号	A12345678
写真	

所有形態 自社保有 リース レンタル

- 機材名・機材ID・写真・所有形態などを登録
- 自社保有・リース・レンタルを同じ画面で管理

2 月次カレンダーで利用予定を確認

2026年6月 今日 月表示

機材名	6/8(月)	6/9(火)	6/10(水)	6/11(木)	6/12(金)
レーザー墨出し器	新築工事 08:00-17:00		改装工事 09:00-16:00	新築工事 10:00-17:00	
高圧洗浄機		改装工事 09:00-16:00	改装工事 09:00-16:00		新築工事 10:00-17:00
小型発電機	設備工事 08:00-17:00				

- 利用日・稼働時間・案件名を確認
- 重複手配の防止や確認漏れの抑制に寄与

3 利用実態を把握し、コスト適正化に活用

A. 所有形態を把握

自社保有 12台 (70%)

リース 4台 (20%)

レンタル 1台 (10%)

B. 利用実態を把握

稼働状況 (全体)

- 稼働中 7台 (41%)
- 予約あり 5台 (29%)
- 空き 5台 (29%)

利用頻度 (直近30日)

レーザー墨出し器 ★★★★★

高圧洗浄機 ★★★★☆

小型発電機 ★★★☆☆

C. 返却タイミングを把握

返却予定 (レンタル)

高圧洗浄機 (レンタル)

返却予定 6/12 (金)

サンプルリース株式会社

次回予定 未定

- 稼働状況や返却タイミングを把握
- 契約見直しや自社保有化の判断材料に活用

一元管理
機材情報と
利用予定をまとめて管理

予定を可視化
月次カレンダーで
利用状況を確認

共有・調整を支援
案件ごとの予定を
見ながら社内共有

コスト適正化
利用実態や
返却タイミングを把握

「機材管理」は、工具や車両、専用機材などの情報を「CAREECON Plus」上に登録し、案件ごとの利用予定を月次カレンダーで確認できる仕組みです。機材ごとに、どの案件で、いつ、誰が使用する予定なのかを把握しやすくなり、現場間の調整や社内共有を支援します。

登録できる情報には、機材名、機材ID、カテゴリ、メーカー、型番、シリアル番号、写真、所有形態などがあります。所有形態は、自社保有・リース・レンタルに対応しており、社内で保有している機材と外部から借りている機材を同じ画面で管理できます。

月次カレンダーでは、機材ごとの利用日、稼働時間、案件名、担当者を確認できます。複数案件が並行する場合でも、機材の利用予定を見ながら調整できるため、重複手配の防止や確認漏れの抑制につながります。

また、所有形態と利用予定をあわせて管理することで、自社保有機材の稼働状況や、リース・レンタル機材の利用実態、返却タイミングを把握しやすくなります。利用頻度の低い契約の見直しや、利用頻度の高い機材の自社保有化を検討する際の判断材料としても活用でき、現場運営の円滑化に加えて、機材にかかるコストの適正化にもつながります。

■AIによる機材検知と稼働効率化を見据えて

「機材管理」により、これまで分散していた機材情報や利用予定を、案件情報と紐づいた業務データとして扱えるようになります。案件・工程・機材に関する情報が「CAREECON Plus」上に蓄積されることで、現場で発生する情報をAIが参照しやすいカタチで整理していく基盤が整います。

今後は、現場で撮影した写真からAIが機材を自動で検知し、配置場所の記録を支援する機能の開発を進めます。機材の所在情報を利用予定や工程情報と照らし合わせることで、AIがより効率的な機材配置を提案する仕組みへと発展させ、空き時間や移動・手配の無駄を抑えた機材稼働の実現を目指します。

ブラニューは今後も、「CAREECON Plus」の機能拡充を通じて、建設現場で発生する情報を経営判断に活用できる業務データとして整理し、建設事業者の経営と現場運営を支えるAIエージェントの開発に取り組んでま

います。

■ CAREECON Platform について

「CAREECON Platform」は、建設事業者向けマッチングサイト「CAREECON」とマーケティングから採用管理、施工管理、経営管理まで行える建設業向け統合型ビジネスツール「CAREECON Plus」からなる建設DXプラットフォームです。SMBに特化した機能開発と、導入から運用まで伴走し続けるDXコンサルティングサービスで、契約社数は6,500社（2026年4月末時点）を超えています。

URL：<https://careecon.jp>（CAREECON）

URL：<https://careecon-plus.com/>（CAREECON Plus）

■ BRANU 株式会社について

BRANU株式会社（ブラニュー）は、「建設業界をテクノロジーでアップデートする。」というビジョンのもと、建設DXプラットフォーム「CAREECON Platform（キャリコン）」を通じて建設業界の変革に取り組んでいます。

社名：BRANU株式会社

証券コード：460A

本社所在地：東京都港区六本木6-1-24 ラピロス六本木4F

設立：2009年8月18日

代表者：代表取締役 名富 達也

事業内容：建設業向けデジタルトランスフォーメーション事業

URL：<https://branu.jp>（コーポレートサイト）

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

BRANU株式会社 経営企画室 IR推進チーム 吉田

mail: investorrelations@branu.jp